

## I. はじめに

- ✓ 農業は、先端技術によって大きく変革しうる産業。Society 5.0時代の農業が実現すれば、生産性の飛躍的向上、フードバリューチェーン(FVC)の最適化が進展し、先端・成長産業化につながるとともに、社会的課題の解決に貢献。
- ✓ そのためには、Society 5.0が拓く農業の将来像を政府・農業界・経済界・研究者・国民が共有しつつ、技術開発と構造改革を推進することが不可欠。
- ✓ そこで以下のとおり、将来像とその実現に向けた施策を提言。

## II. Society 5.0が拓く農業の将来像

### フードバリューチェーン(FVC)

#### 生産

- ・高い生産性を誇る魅力的な先端・成長産業化（大規模化・効率化、高付加価値化）
- ・多様なプレイヤー（経営体）が自由に参入
- ・地域の特性に応じた多様な農業の実現

#### 加工・物流・販売等

- ・FVC全体の最適化
- ・フードロスの最小化
- ・消費者ニーズに沿った多様な食・サービスの提供
- ・的確な情報発信による付加価値向上

#### 海外展開

- ・農林水産物・食品輸出拡大
- ・FVCシステムの輸出
- ・持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献

## III. Society 5.0時代の農業を支える制度の確立（ロードマップ）

2020年

2025年

2030年

研究・開発と普及の促進

農・産・学・官連携の司令塔構築

オープンイノベーションによる技術開発加速

イノベーションエコシステムの構築

データ基盤の構築・民間活用の促進  
マーケット情報の収集・オープン化

先端技術の普及

研究・開発を促進する法制度整備、人材育成

経営体の潜在力を引き出す制度・ルールの構築

農業関連法制度の抜本的再構築  
農地集積・集約

経営大規模化・多様化

RFID等開発  
輸送規格・商品情報授受の標準化  
FVCの情報共有・消費者のアクセス実証

物流システムの高度化（リアルタイム情報共有の実現等）

海外展開の推進

品目選定・開発

輸送網整備

農林水産物・食品の大規模輸出

要素技術開発

規制緩和  
販路拡大

技術・ノウハウのパッケージ化・輸出